南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和２年１１月号
担当〔山田〕
NO.94

11月は「死者の月」

お利口にしとかんと，天国には行けんとぞ。
地獄の苦しみは恐ろしかよ。

神様はいつも見とっとぞ。そんなに悪さばっかりしとったらバチの当たるぞ。

わたしたちは，子供の頃，まわりの大人たちからこのようによく言い聞かされて育ちました。昭和４０年代辺りまでは，家でも教会でも，子育てや信仰教育の中で上記のような文句がしばしば使われていたように思います。つまり，地獄の怖さや悪魔の存在を子供にちらつかせながら子供が悪の道に近づかないように教え導いていたわけです。ですから，たとえ小さい子供であっても折りあるごとに死後の世界を意識し，天国に行けるようにするために，自分の行いが罪になるか罪にならないかを常に意識していたように思います。

ところが，昭和５０年代に入った辺り頃からは，教会の教えの中からも地獄とか悪魔とかいった言葉があまり聞かれなくなってきたように感じます。おそらく「地獄に行くから……」などという教えは，神様のことを第一にしないで自分のことのみを大切にしていると考えられるようになってきたからだと思われます。教会の教えでは，「罪を犯すと地獄に行くというよりは，神様を悲しませてしまう」というように神様のことを第一に考えてほしいわけです。それ以上に，神様のよい子になるために，よく祈り，家族や友達を大切にし，思いやりのある善い行いを進んでするといったプラス思考の真の信仰を身に付けてほしいのです。

いずれにしても，小さい子供の時分から天国の永遠の幸せを意識し，それを願いながら生活することは大事なことのように思います。

カトリック教会では，１１月を「死者の月」としています。小さな罪や罪の償いを残したまま一生を終えた霊魂は，天国に上るまでの間，罪の清めを受けるために煉獄の苦しみを受けなければならないと教えられています。その煉獄の霊魂の救いのために特にお祈りをしてあげる月として「死者の月」が位置づけられているのです。自分では罪の償いも祈りも何もすることのできない煉獄の霊魂が早く罪から解かれ永遠の幸せである天国にいくためには，この世のわたしたちの祈りが必要であること，つまり，わたしたちは祈りによって煉獄で苦しんでいる霊魂を助けることができると教えられているわけです。

昨年来日されたフランシスコ教皇様も，就任後間もない死者の月の説教の中で，

わたしたちを愛し，わたしたちによくしてくれた親しい人々の墓前に赴くのはもとより，誰も思い出すことのない人々，戦争や暴力の犠牲者，飢えや貧困のために亡くなった子どもたち，共同墓地に眠る名も無い人々，キリスト教信仰のために迫害され亡くなった人たち，他人に奉仕するために命を落とした人たちのためにも祈りましょう。

と，説かれています。

南山小学校の子供たちの中にも，自分たちを愛し，よくしてくれた大切な肉親を今年亡くしてしまったという子もいることでしょう。中でも，鳥居政文くんの死は，２年生ばかりでなく学校全体の大きな大きな悲しみでした。

亡くなった人の救いのために祈ると同時に，自分自身もいつの日か天国で神様を仰ぎ見ることのできる永遠の幸せに入りたいという強い気持ちを子供のうちからもって欲しいと願っています。

安全に注意して登下校！

JR や電車，バスなどの公共の乗り物のマナーについて，コロナ禍では特に敏感に反応する人が多いようです。先日，乗り合わせたという見知らぬ方から「おしゃべりが多い」という注意の電話を受けました。また，下校途中に公園で遊んだりお店に立ち寄ったりしている児童がいるという報告もありました。学校を一歩離れたとしても，登下校中の決まりは守らなければならない南山小学校のルールです。ご家庭でも再度確認をし，必要な指導をお願いします。

立冬が過ぎ，太陽が沈み始めてから日没までの時間もますます短く感じられるようになってきました。例年夕暮れ時には，重大事故に繋がるおそれのある交通事故が全国で多発しています。南山小学校近辺もカーブの多い通学路です。安全に気を付けて登下校するように，交通安全の面からもご指導をお願いします。

- いつも決まった通学路を通る。
- 複数人で登下校する。
- 寄り道をしない。
- 飛び出しをしない。
- ふざけ歩きをしない。
- 車の直前，直後を渡らない。
- 横断歩道でも，左右をよく確かめてから渡る。
- 交通指導員，運転手さんたちにあいさつをする。
- 乗り物を利用するときはルールを守る。

♧♧ 教 室 紹 介 ♧♧

４年２組　担任　江 上 沙和子 先生

「大丈夫？」「ドンマイ！」「まかせとけ！」「すごいね！」「よかったね！」

教室でも運動場でも，授業中にも遊びの時にも，友達の失敗を励ます姿や成功をいっしょに喜び合う姿，そんな友達を思いやる姿があちらこちらで見られる４年２組です。帰りの会の「今日のあったかさん紹介」の中でも，たくさん手が挙がって，その日の微笑ましい場面を発表してくれています。

「みんなが楽しめる活動」を目標に取り組んでいる係活動では，慢性にならないように日々工夫したり反省したりしながら知恵を出し合って頑張っています。

来週行われる全校クリスマス会に向けて，聖劇の練習も頑張っています。天使や羊飼いの踊りなどもアイディアを出し合い，アドバイスをし合いながら最終段階の完成に近づいているところです。

江上先生自慢のパワフルな子どもたちです。

♪五つのパン

五つのパンと　二ひきのさかな
ひとりのしょうねん　ささげました
イエスさま　それを　みんなにわけて
五千の人が　みたされました

ささげるものは　すくなくても
イエスさまのみ手に　おわたしすれば
そのまごころは　しゅくふくされて
おおくの人が　みたされるでしょう